

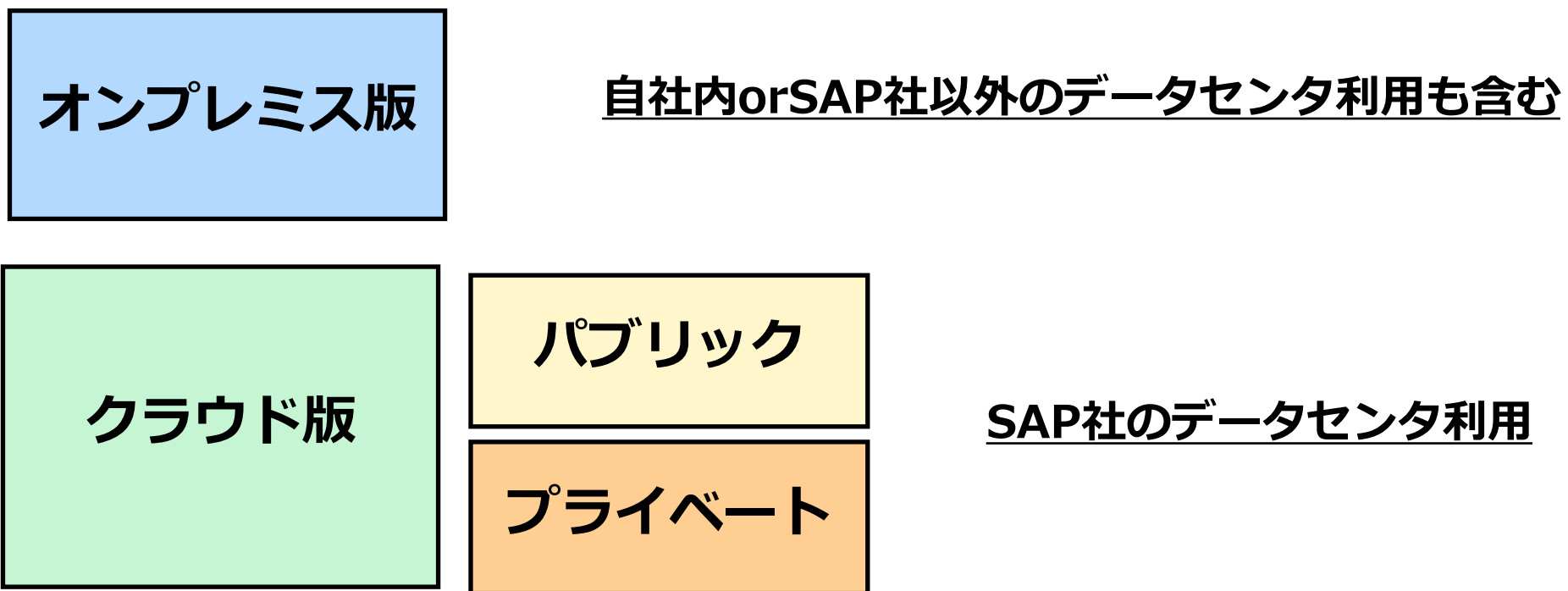
# S/4HANAの種類と特徴

## S/4HANAで変わったこと

- リアルタイムデータの分析・活用
- バッチ処理からの解放
- TOC（Total Cost of Ownership）の削減
- インテリジェンス機能の充実
- Fioriの採用

# S/4HANAの種類と特徴

## SAP S/4 HANAの種類：おおまかには3種類



# S/4HANAの種類と特徴

## SAP S/4 HANAの種類別の特徴

比較	オンプレミス	クラウド	
		パブリック	プライベート
名称	S/4HANA OnPremise	S/4HANA Cloud,Public	S/4HANA Cloud,Private Edition
機能範囲			
ユーザアクセス			
Add-on			
インフラ			
ライセンス			
バージョンアップ			
運用			

# S/4HANAの種類と特徴

## SAP S/4 HANAの種類別の特徴

比較	オンプレミス	クラウド	
		パブリック	プライベート
名称	S/4HANA OnPremise	S/4HANA Cloud,Public	S/4HANA Cloud,Private Edition
機能範囲	フルスコープ	コア機能のみ	フルスコープ
ユーザアクセス	SAP GUI,Fiori	Fiori	SAP GUI,Fiori
Add-on	可	不可※	可
インフラ	自社orデータセンタ サービス会社を利用	SAPのデータセンタ 利用	SAPのデータセンタ 利用
ライセンス	売切りライセンス	サブスクリプション	サブスクリプション
バージョンアップ	お客様責任	3ヶ月ごと自動	年1回（権利）
運用	お客様	SAP社	お客様／SAP社

# S/4HANAの種類と特徴

## S/4HANAの選び方の例

ケース	アプローチ	S/4HANA	検討点
1. 今まで利用中の旧バージョンのECCを生かしたい			
2. 現行のECC上にAdd-onが多い			
3. 旧バージョンのECCは捨てて、新規に基幹システムを再構築する			
4. プロセスを標準に合わせて早く実現したい			
5. S/4HANAの運用負荷を最小化したい			

# S/4HANAの種類と特徴

## S/4HANAの選び方の例

ケース	アプローチ	S/4HANA	検討点
1. 今まで利用中の旧バージョンのECCを生かしたい	コンバージョン	オンプレミス プライベート	自社内に用意するか、データセンタを利用するか
2. 現行のECC上にAdd-onが多い	コンバージョン	オンプレミス プライベート	Add-onの見直し、プロセスの見直しが必要
3. 旧バージョンのECCは捨てて、新規に基幹システムを再構築する	新規導入	オンプレミス プライベート パブリック	ゴールの見直し、プロセスの見直し、旧バージョンの扱い
4. プロセスを標準に合わせて早く実現したい	新規導入	パブリック	標準に合わせる プロセスの見直し
5. S/4HANAの運用負荷を最小化したい	新規導入	プライベート パブリック	SAPのデータセンタ利用